

お知らせ



身体障害者の 更生相談ひろく

9月19日・文化センターで

市福祉事務所は、目、耳、手、足、身体の不自由な人で、日ごろ専門医の診断が受けられない人、また生活や職業、医療などのことで、相談の機会に恵まれない人たちのために「身体障害者巡回診査更生相談」を開きます。

▷ときは

9月19日（受け付け午前中）

▷ところは

富士文化センター

▷相談内容は

更生医療・育成医療の給付、医療相談補装具の交付、職業相談、施設入所、生活相談、手帳の交付、年金診断など

▷相談員は

赤十字病院、済生会病院の眼科、耳鼻いんこう科、整形外科の専門医師と、福祉事務所、身体障害者更生相談所、児童相談所、公共職業安定所、補装具業者などの専門の係員が応じます。

▷その他

- ・内科疾患の人は対象になりません。
- ・印かんをおもちください（身体障害者手帳をおもちの人はご持参ください）
- ・目、耳の不自由な人やこどもには、つきそいをつけてください。

※くわしくは、福祉事務所へ。

盲人の方に録音図書を

テープライブラリーの会（代表佐野明子さん）ができました。

この会は、テープを利用して点字を知らない盲人に読書を楽しんでもらうためのものです。同会では盲人に本を読んであげる善意ある人の参加を望んでいます

・連絡先 テープライブラリーの会（市内水戸島 電61-0704）

新消防団長に 望月虎一氏

「後進に道をゆづりたい」と、漆畑雅治富士市消防団長が勇退されましたので、齊藤市長は、新消防団長にこれまで副団長の望月虎一氏（66）＝青島・会社社長＝を任命し、8月13日に辞令を交付＝写真＝しました。

望月新団長は「団員の協力を得て

消防活動にまい進したい」と抱負をのべました。なお、勇退された漆畑雅治氏（71）は、消防歴26年で、その間勲五等瑞宝章をはじめ消防功労章、防災功労章、吉原市長表彰などを受けています。



県芸術祭の文学 部門の作品募集

静岡県文化協会が、第8回静岡県芸術祭文学部門の作品を募集しています。

■種目・制限・応募資格は

- ・小説 原稿用紙50枚以内
- ・文芸評論 原稿用紙40枚以内
- ・随筆 原稿用紙15枚以内
- ・詩 原稿用紙4枚以内
- ・短歌 5首を一編とする
- ・俳句 5句を一編とする
- ・戯曲 原稿用紙50枚程度（1時間前後で上演できるもの）
- ・県内在住者ならだれでも応募できる（中学生以下は除く）

※原稿用紙は400字詰のもの。

■応募上の注意

- ・応募原稿はインク書とし楷書ではつきりと書く。散文の場合は新かなづかい
- ・原稿の1ページ目に応募種目、氏名、住所、職業、年令を明記する。（短歌俳句は原稿を4部提出）
- ・原稿は返却しない。
- ・応募は1種目1編に限る。1人2種目以内
- ・応募作品は未発表のもの。

■送り先

- ・静岡市追手町、静岡県教育委員会、社会教育課内、静岡県文化協会。封筒表面に「芸術祭文学作品応募原稿」と朱書きする。

■締め切り

昭和43年9月30日

南中のプール完成

■ 富士南中のプール開きが、このほど行なわれました。完成したプールは長さ25m、7コースの立派なもの。生徒たちは「プールで、からだをきたえます」と大喜びでした。

